

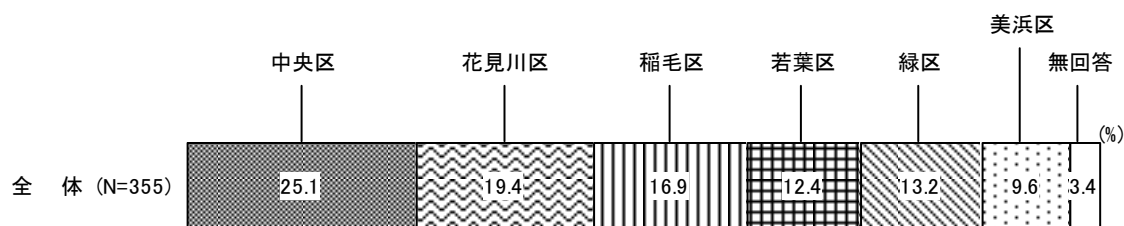
### 第3章 生涯学習関連機関・事業所調査

#### 1 生涯学習関連機関・事業所の概要

##### (1) 事業所の所在地区

事業所の所在地区については、「中央区 (25.1%)」が最も高くなっている。次いで「花見川区 (19.4%)」、「稲毛区 (16.9%)」、「緑区 (13.2%)」となっている (図表3-1-1)。

図表3-1-1 事業所の所在地区 (全体)

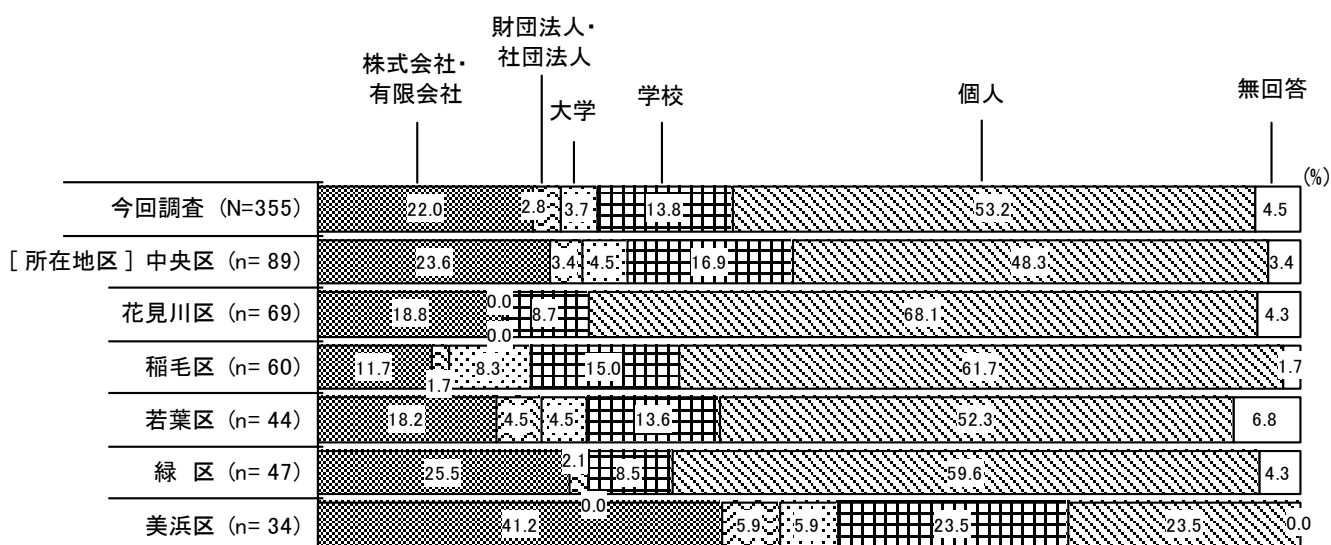


##### (2) 事業形態

事業形態については、「個人 (53.2%)」が最も高く、半数以上を占めている。次いで「株式会社・有限会社 (22.0%)」、「学校 (13.8%)」となっている。

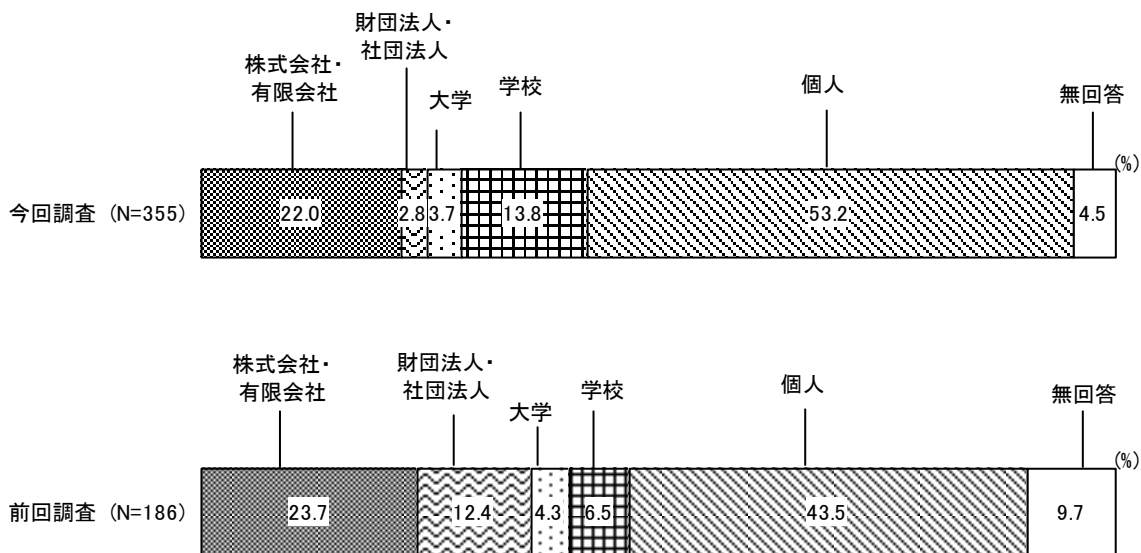
所在地区別にみると、花見川区では「個人 (68.1%)」が約7割を占めている。また、美浜区以外では「個人」が最も高くなっている。美浜区では「株式会社・有限会社 (41.2%)」が最も高くなっている (図表3-1-2-1)。

図表3-1-2-1 事業形態 (全体、所在地区別)



事業形態について、前回調査(平成17年)の結果と比較すると、「個人」が9.7ポイント、「学校」が7.3ポイント増加している。一方、「財団法人・社団法人」は9.6ポイント減少している(図表3-1-2-2)。

図表3-1-2-2 事業形態の推移(全体/今回調査、前回調査)



## 2 生涯学習関連事業の概要

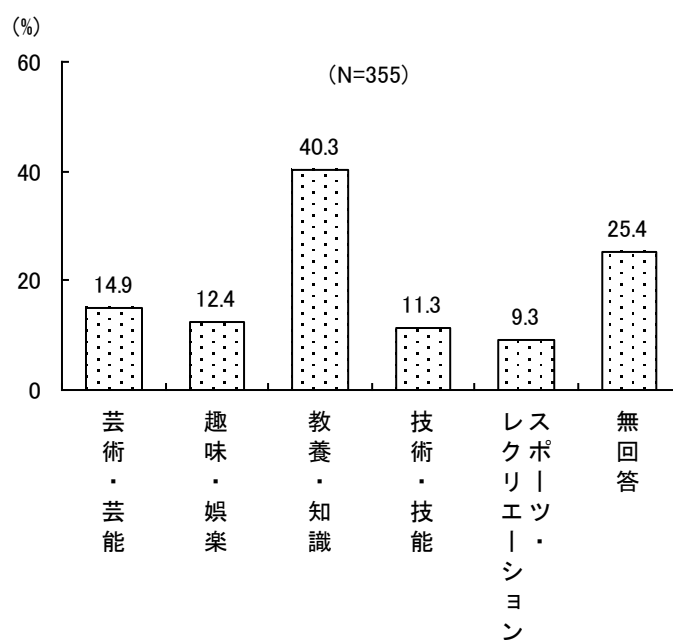
### (1) 定期的事業・不定期事業の概要

問1 貴機関・事業所における定期的事業と不定期事業の①実施回数、②在籍者数・延べ参加者数、③受講料（教材費を除く、消費税込みの1回あたり平均額）、④主な参加者層を数字でご記入ください。

#### 【定期的事業】

定期的事業を事業分野別にみると、「教養・知識（40.3%）」が最も高く、約4割を占めている。次いで「芸術・芸能（14.9%）」、「趣味・娯楽（12.4%）」、「技術・技能（11.3%）」、「スポーツ・レクリエーション（9.3%）」となっている（図表3-2-1-1）。

図表3-2-1-1 事業分野別の定期的事業実施事業所（全体）



定期的事業の概要は次のとおりである。

## ア 実施事業所数

定期的事業を実施している事業所については、「教養・知識（143 事業所）」が最も多い。次いで「芸術・芸能（53 事業所）」、「趣味・娯楽（44 事業所）」、「技術・技能（40 事業所）」、「スポーツ・レクリエーション（33 事業所）」となっている。

## イ 月間実施回数

平均月間実施回数については、「技術・技能（33.8 回）」が最も多い。次いで「教養・知識（20.1 回）」、「スポーツ・レクリエーション（19.1 回）」、「芸術・芸能（11.2 回）」、「趣味・娯楽（10.9 回）」となっている。

## ウ 在籍者数

平均在籍者数については、「スポーツ・レクリエーション（314.6 人）」が最も多い。次いで「技術・技能（245.8 人）」、「教養・知識（79.4 人）」、「芸術・芸能（75.7 人）」、「趣味・娯楽（57.7 人）」となっている。

## エ 受講料

平均受講料については、「技術・技能（5,638 円/回）」が最も高い。次いで「教養・知識（3,823 円/回）」、「趣味・娯楽（2,214 円/回）」、「芸術・芸能（2,209 円/回）」、「スポーツ・レクリエーション（2,134 円/回）」となっている。

定期的事業の概要について、前回調査(平成17年)の結果と比較すると、「技術・技能」の実施回数と在籍者数が増加している。それ以外の分野では実施回数、在籍者数、受講料が減少している（図表3-2-1-2）。

図表3-2-1-2 定期的事業の概要の推移（全体／今回調査、前回調査）

		芸術・芸能	趣味・娯楽	教養・知識	技術・技能	レスポ ー ツ ・ レ ク リ エ ー シ ョ ン	全 分 野
今回調査 (N=355)	実施事業所数(事業所)	53	44	143	40	33	313
	平均月間実施回数(回)	11.2	10.9	20.1	33.8	19.1	22.4
	平均在籍者数(人)	75.7	57.7	79.4	245.8	314.6	142.1
	平均受講料(円/回)	2,209	2,214	3,823	5,638	2,134	3,871
前回調査 (N=186)	実施事業所数(事業所)	39	33	48	32	27	179
	平均月間実施回数(回)	14.7	17.1	265.6	20.4	80.7	115.9
	平均在籍者数(人)	85.9	61.2	376.0	70.8	517.2	280.6
	平均受講料(円/回)	4,555	2,516	8,919	9,498	6,321	9,559

各分野ごとの主な参加者層は次のとおりである。

《a 芸術・芸能》

「20歳未満女性（52.8%）」が最も高く、次いで「60歳以上女性（37.7%）」である。

《b 趣味・娯楽》

「35～59歳女性（43.2%）」が最も高く、次いで「60歳以上女性（38.6%）」である。

《c 教養・知識》

「20歳未満男性（72.7%）」が最も高く、次いで「20歳未満女性（68.5%）」である。

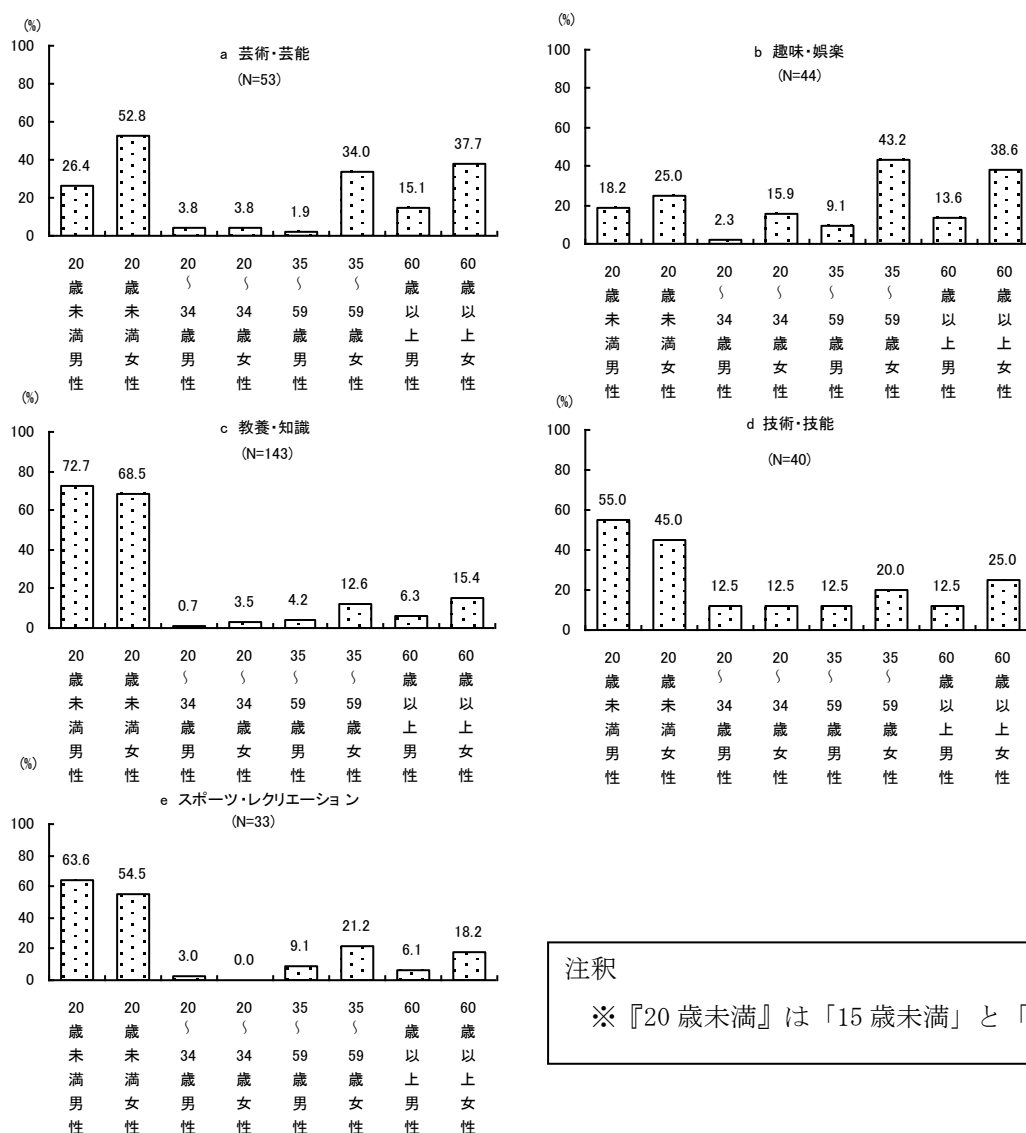
《d 技術・技能》

「20歳未満男性（55.0%）」が最も高く、次いで「20歳未満女性（45.0%）」である。

《e スポーツ・レクリエーション》

「20歳未満男性（63.6%）」が最も高く、次いで「20歳未満女性（54.5%）」である（図表3-2-1-3）。

図表3-2-1-3 定期的事業の主な参加者層（全体）



注釈  
 ※『20歳未満』は「15歳未満」と「15～19歳」の計

## 【不定期事業】

不定期事業の概要は次のとおりである。

### ア 実施事業所数

不定期事業を実施している事業所については、「教養・知識（38 事業所）」が最も多い。次いで「スポーツ・レクリエーション（18 事業所）」、「趣味・娯楽（17 事業所）」、「芸術・芸能（15 事業所）」、「技術・技能（8 事業所）」となっている。

### イ 年間実施回数

平均年間実施回数については、「スポーツ・レクリエーション（23.3 回）」が最も多い。次いで「教養・知識（18.4 回）」、「趣味・娯楽（13.9 回）」、「技術・技能（13.1 回）」、「芸術・芸能（6.0 回）」となっている。

### ウ 延参加者数

平均延参加数については、「スポーツ・レクリエーション（10,461.7 人）」が最も多い。次いで「趣味・娯楽（608.8 人）」、「教養・知識（521.3 人）」、「技術・技能（234.1 人）」、「芸術・芸能（215.3 人）」となっている。

### エ 受講料

平均受講料については、「芸術・芸能（12,229 円/回）」が最も高い。次いで「趣味・娯楽（3,570 円/回）」、「技術・技能（2,700 円/回）」、「教養・知識（2,088 円/回）」、「スポーツ・レクリエーション（1,372 円/回）」となっている。

不定期事業の概要について、前回調査(平成 17 年)の結果と比較すると、実施回数は全ての分野で減少している。延参加者数は「スポーツ・レクリエーション」が大幅に増加している。受講料は「芸術・芸能」、「趣味・娯楽」が増加、「教養・知識」、「技術・技能」、「スポーツ・レクリエーション」が減少となっている（図表 3-2-1-4）。

図表 3-2-1-4 不定期事業の概要の推移（全体/今回調査、前回調査）

		芸術・芸能	趣味・娯楽	教養・知識	技術・技能	スポーツ・レクリエーション	全分野
今回調査 (N=355)	実施事業所数(事業所)	15	17	38	8	18	96
	平均年間実施回数(回)	6.0	13.9	18.4	13.1	23.3	19.6
	平均延参加者数(人)	215.3	608.8	521.3	234.1	10461.7	3181.0
	平均受講料(円/回)	12,229	3,570	2,088	2,700	1,372	4,880
前回調査 (N=186)	実施事業所数(事業所)	19	13	28	13	20	93
	平均年間実施回数(回)	8.6	15.9	18.6	89.7	40.3	41.8
	平均延参加者数(人)	722.6	245.3	422.9	283.2	2205.7	1113.3
	平均受講料(円/回)	7,643	2,186	5,721	6,608	4,518	8,476

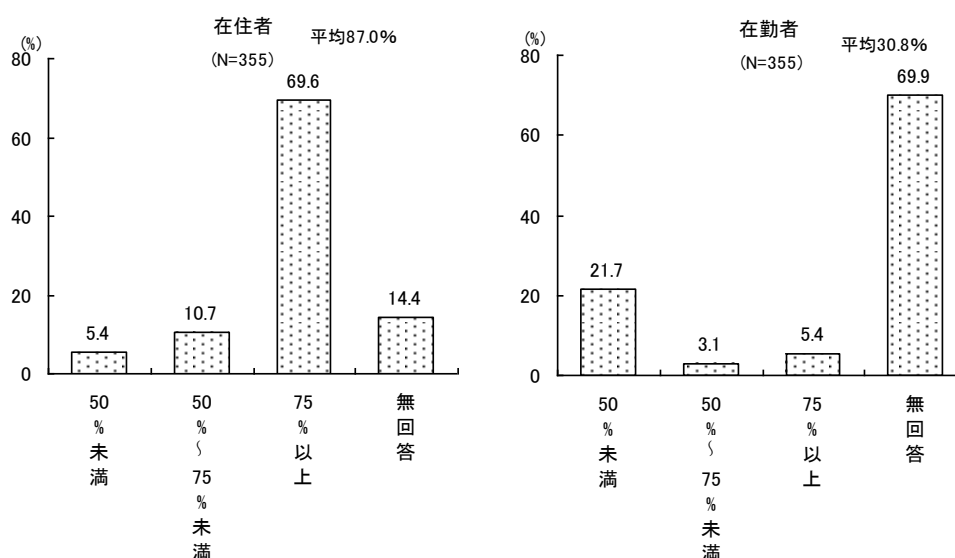
(2) 在住・在勤者の割合

問2 主な参加者のうち、在住・在勤の割合はおおむねどのくらいですか。それぞれ整数でご記入ください。

主な参加者の在住者割合については、「75%以上(69.6%)」が最も高くなっている。また、平均は87.0%となっている。

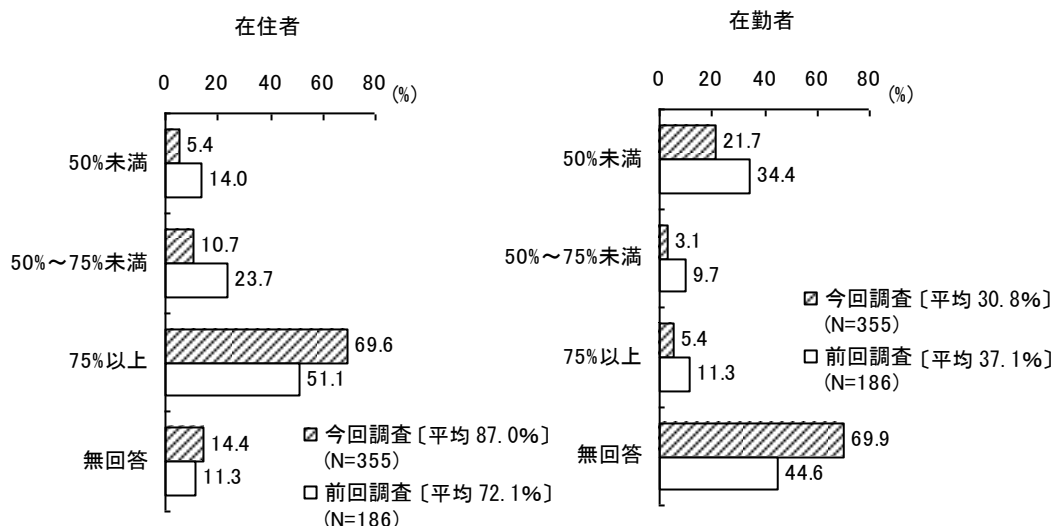
主な参加者の在勤者割合については、「50%未満(21.7%)」が最も高くなっている。また、平均は30.8%となっている(図表3-2-2-1)。

図表3-2-2-1 在住・在勤者の割合(全体)



在住・在勤者の割合について、前回調査(平成17年)の結果と比較すると、在住者については、平均が14.9ポイント増加している。一方、在勤者については、平均が6.3ポイント減少している。市内在住の参加者割合が、5年前より増加していることがうかがえる(図表3-2-2-2)。

図表3-2-2-2 在住・在勤者の割合の推移(全体/今回調査、前回調査)



### (3) 講師数・資格所持者数

問3 貴機関・事業所の生涯学習事業の講師は、何人いますか。また、そのうち指導している分野の資格（国・自治体・外国・民間）を持っている講師は何人いますか。それぞれ数字でご記入ください。

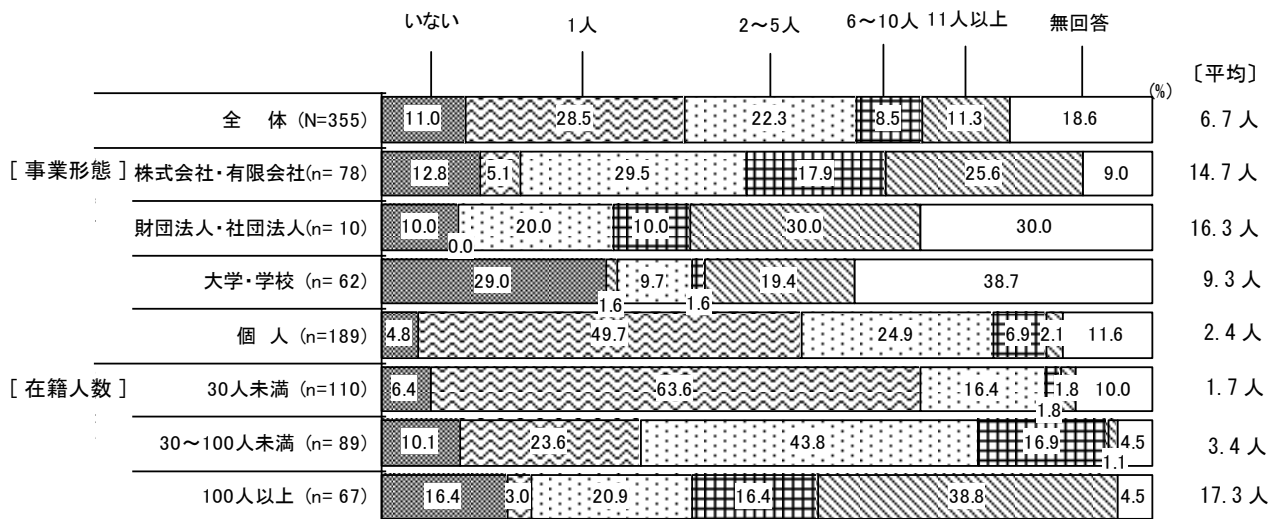
#### 【講師数】

講師数については、「1人(28.5%)」が最も高くなっている。次いで「2～5人(22.3%)」、「11人以上(11.3%)」となっている。平均は6.7人となっている。

事業形態別にみると、株式会社・有限会社では「2～5人(29.5%)」が、財団法人・社団法人では「11人以上(30.0%)」が、大学・学校では「いない(29.0%)」が、個人では「1人(49.7%)」がそれぞれ最も高くなっている。

在籍者数別にみると、30人未満では「1人」が最も高く、6割以上を占めている。30～100人未満では「6～10人(43.8%)」、100人以上では「11人以上(38.8%)」がそれぞれ最も高くなっている。在籍者数が多くなるほど、講師数も多くなる傾向がある(図表3-2-3-1)。

図表3-2-3-1 講師数(全体、事業形態別、在籍者数別)



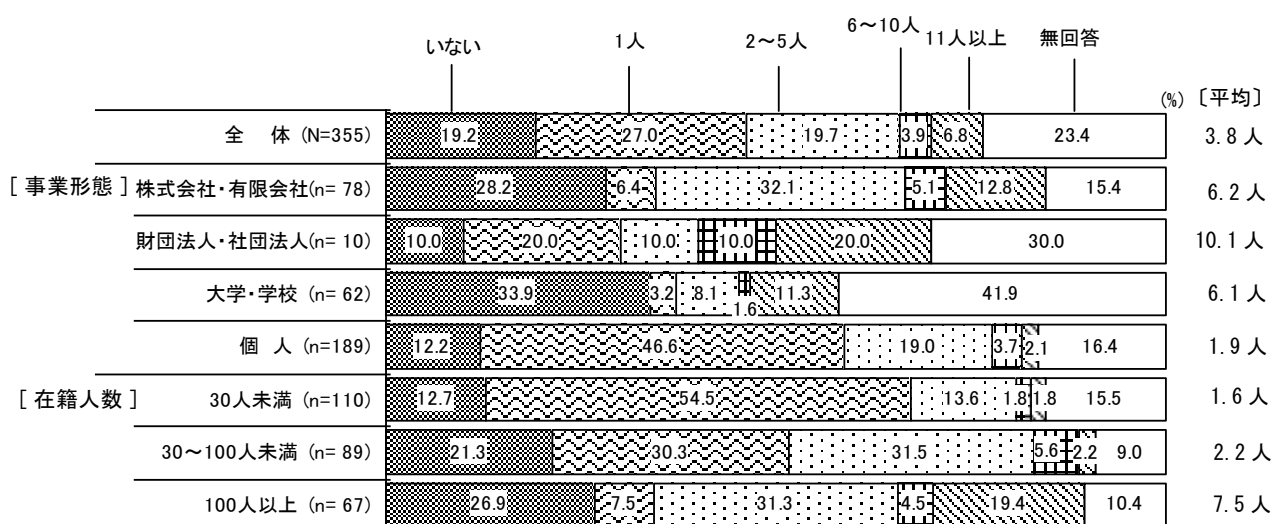
【資格所持者数】

資格所持者数については、「1人 (27.0%)」が最も高くなっている。次いで「2～5人 (19.7%)」、「いない (19.2%)」となっている。平均は3.8人となっている。

事業形態別にみると、株式会社・有限会社では「2～5人 (32.1%)」、財団法人・社団法人では「1人、11人以上 (20.0%)」、大学・学校では「いない (33.9%)」、個人では「1人 (46.6%)」がそれぞれ最も高くなっている。

在籍者数別にみると、30人未満では「1人 (54.5%)」、30～100人未満では「2～5人 (31.5%)」、100人以上では「2～5人 (31.3%)」がそれぞれ最も高くなっている。また、100人以上では「11人以上 (19.4%)」が約2割となっている。在籍者数が多くなるほど、資格所持者数も多くなる傾向がある (図表3-2-3-2)。

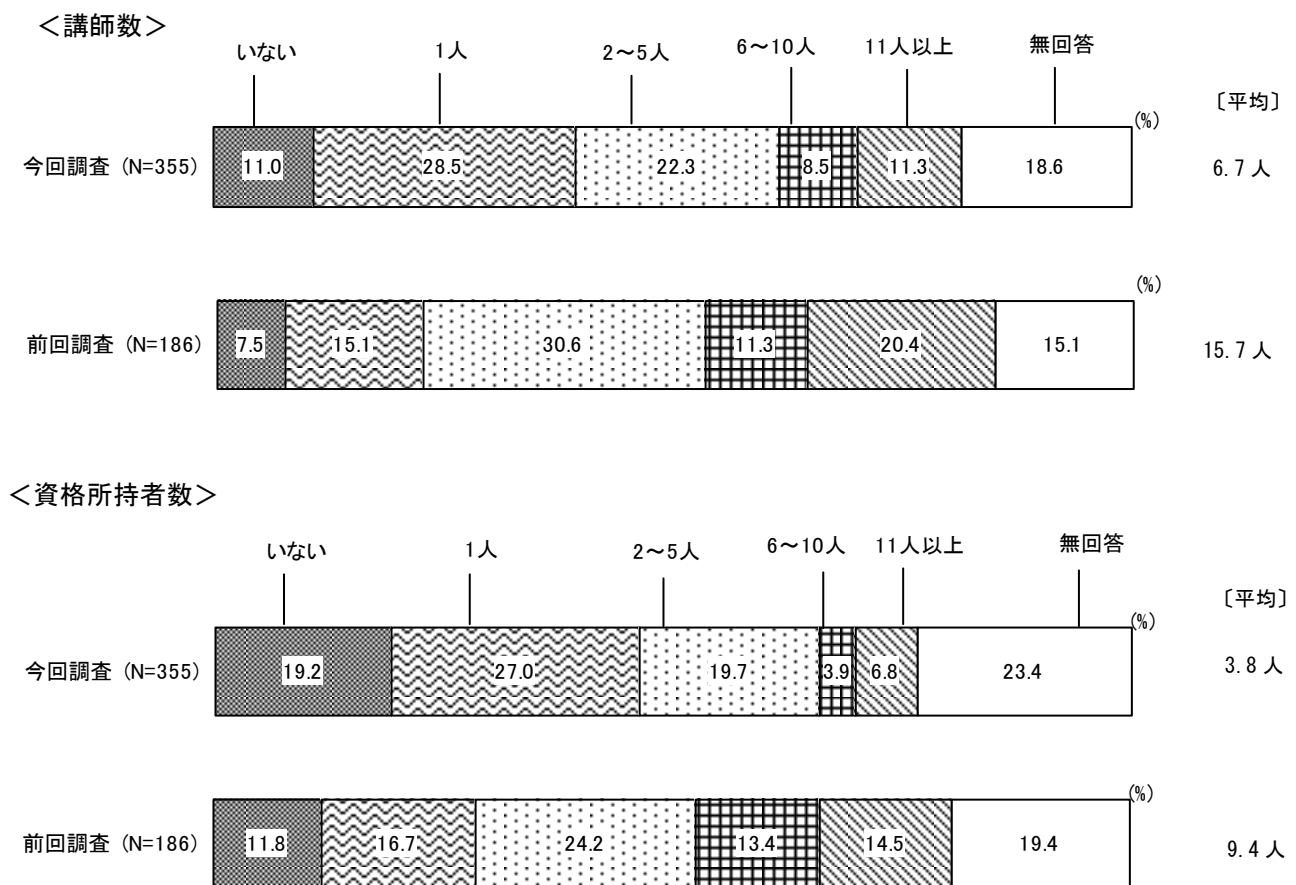
図表3-2-3-2 資格所持者数 (全体、事業形態別、在籍者数別)



講師数・資格所持者数について、前回調査(平成 17 年)の結果と比較すると、講師数については、前回平均 15.7 人から今回平均 6.7 人に減少している。

資格所持者数では、前回平均 9.4 人から今回平均 3.8 人に減少している(図表 3-2-3-3-3)。

図表 3-2-3-3-3 講師数・資格所持者数の推移(全体/今回調査、前回調査)



### 3 生涯学習関連事業の運営

#### (1) 講師の派遣と条件

問4 貴機関・事業所では、依頼があれば市の生涯学習事業に講師を派遣することができますか。あてはまる番号に1つ〇印をつけてください。

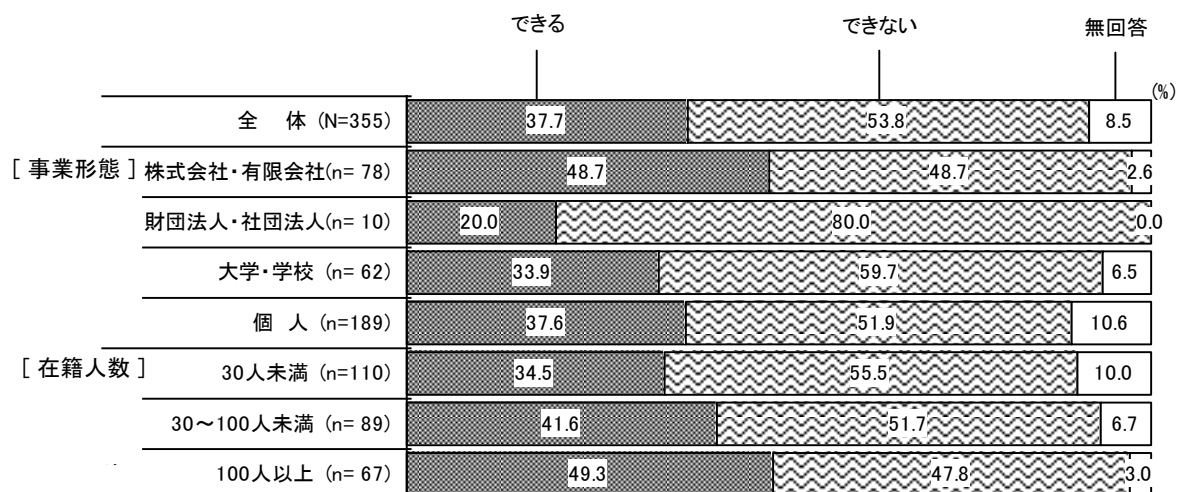
講師の派遣については、「できる」が37.7%、「できない」が53.8%となっている。

なお、前回調査と比較すると「できる」は30.6ポイント減少している。

事業形態別にみると、株式会社・有限会社では「できる（48.7%）」が全体（37.7%）より高く、約半数を占めている。

在籍者数別にみると、在籍者数が多くなるほど、「できる」が高くなる傾向がある。事業形態、在籍者数によって、講師の派遣の可否に違いがあることがうかがえる（図表3-3-1-1）。

図表3-3-1-1 講師の派遣（全体、事業形態別、在籍者数別）



付問 問4で「1. できる」と回答した方におたずねします。  
 講師を派遣する際に、市にとくに配慮してほしい条件はつぎのうちどれにあたりますか。あてはまる番号に2つまで○印をつけてください。

講師を派遣する際に、市にとくに配慮してほしい条件については、「曜日や時間帯 (68.7%)」が最も高く、次いで「講師料 (36.6%)」、「場所 (28.4%)」、「市の協力体制 (18.7%)」となっている。

事業形態別にみると、株式会社・有限会社では「講師料 (57.9%)」が最も高くなっている。それ以外の事業形態ではいずれも「曜日や時間帯」が最も高くなっている。

在籍者数別にみると、いずれも「曜日や時間帯」が最も高くなっている。また、30人未満では「場所 (39.5%)」が全体 (28.4%) より高くなっている (図表3-3-1-2)。

図表3-3-1-2 講師派遣の条件 (全体、事業形態別、在籍者数別)

		(%)							
		曜日 や 時間 帯	講 師 料	場 所	市 の 協 力 体 制	受 講 者 の 定 員	受 講 者 の レ ベ ル	そ の 他	無 回 答
全 体 (N=134)		68.7	36.6	28.4	18.7	9.0	3.7	5.2	5.2
事業 形 態	株式会社・有限会社 (n= 38)	44.7	57.9	26.3	26.3	10.5	0.0	10.5	5.3
	財団法人・社団法人 (n= 2)	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	大学・学校 (n= 21)	95.2	23.8	28.6	4.8	0.0	4.8	9.5	4.8
	個 人 (n= 71)	71.8	28.2	29.6	19.7	9.9	5.6	1.4	5.6
在 籍 者 数	30人未満 (n= 38)	60.5	28.9	39.5	13.2	13.2	5.3	2.6	7.9
	30～100人未満 (n= 37)	73.0	43.2	21.6	21.6	2.7	2.7	5.4	5.4
	100人以上 (n= 33)	69.7	42.4	24.2	24.2	12.1	3.0	12.1	0.0

(2) 事業実施の問題点

問5 貴機関・事業所では、事業実施にあたりどのような問題点がありますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

事業実施の問題点については、「広報・PR活動が十分ではない (29.3%)」が最も高くなっている。次いで「事業運営費が不足している (17.7%)」、「運営実務のできる人材が不足している (14.4%)」となっている。

事業形態別にみると、大学・学校では「事業運営費が不足している (27.4%)」が最も高くなっている。それ以外の事業形態ではいずれも「広報・PR活動が十分ではない」が最も高くなっている。

在籍者数別にみると、いずれも「広報・PR活動が十分ではない」が最も高くなっている。また、30～100人未満では「事業運営費が不足している (29.2%)」が全体 (17.7%) より高く、100人以上では「市や他の事業所の事業と競合してしまう (28.4%)」が全体 (10.7%) より高くなっており、在籍者数が多くなるほど、「市や他の事業所の事業と競合してしまう」が高くなる傾向がある (図表3-3-2)。

図表3-3-2 事業実施の問題点 (全体、事業形態別、在籍者数別)

		分広 報 で は な い	て事 業 運 営 費 が 不 足 し	材運 が營 不実 足務 しので い る 人	業市 とや 競他 合の 事業 所の 事	か受 み講 に者 くの ニ ーズ が つ	会 場 が 確 保 し に く い	のI 展T 開を が活 困用 難した 事業	そ の 他	と く に な い	無 回 答
全	体 (N=355)	29.3	17.7	14.4	10.7	9.6	6.2	4.2	3.4	27.6	18.0
事業 形態	株式会社・有限会社 (n= 78)	33.3	23.1	15.4	26.9	11.5	3.8	0.0	3.8	26.9	3.8
	財団法人・社団法人 (n= 10)	40.0	30.0	20.0	0.0	20.0	10.0	10.0	0.0	30.0	10.0
	大学・学校 (n= 62)	24.2	27.4	19.4	6.5	8.1	4.8	3.2	6.5	17.7	25.8
	個人 (n=189)	30.7	12.2	10.1	6.9	8.5	7.4	5.3	2.6	31.7	20.6
在籍 者 数	30人未満 (n=110)	33.6	8.2	9.1	5.5	9.1	3.6	5.5	1.8	34.5	18.2
	30～100人未満 (n= 89)	34.8	29.2	11.2	10.1	10.1	10.1	2.2	4.5	31.5	12.4
	100人以上 (n= 67)	32.8	14.9	17.9	28.4	9.0	6.0	4.5	6.0	23.9	6.0

### (3) 青少年向けの事業

問6 貴機関・事業所では、青少年向けにどのような事業を実施していますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

青少年向けの事業については、「学術・教養 (42.0%)」が最も高くなっている。次いで「趣味・けいこ事 (25.1%)」、「教育 (16.9%)」、「健康づくり・スポーツ (14.6%)」となっている。

事業形態別にみると、株式会社・有限会社、個人では「学術・教養」が最も高くなっている。大学・学校では「教育 (27.4%)」、「健康づくり・スポーツ (27.4%)」が最も高くなっている。

在籍者数別にみると、いずれも「学術・教養」が最も高くなっている。また、100人以上では全ての分野が全体より高くなっている (図表3-3-3)。

図表3-3-3 青少年向けの事業 (全体、事業形態別、在籍者数別)

		学術・教養	趣味・けいこ事	教育	健康づくり・スポーツ	職業上必要な知識・技能・資格取得	パソコン・インターネットに関すること	ボランティア活動・地域活動	科学に関すること	社会問題	家庭生活に役立つ技能	健康に関すること	その他	とくにない	無回答
全体	(N=355)	42.0	25.1	16.9	14.6	8.2	5.4	4.2	4.2	3.7	3.7	2.8	3.7	10.4	11.3
事業形態	株式会社・有限会社 (n= 78)	51.3	23.1	24.4	21.8	14.1	11.5	7.7	7.7	3.8	7.7	0.0	0.0	2.6	1.3
	財団法人・社団法人 (n= 10)	20.0	10.0	30.0	30.0	30.0	30.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	20.0	30.0	0.0
	大学・学校 (n= 62)	22.6	22.6	27.4	27.4	12.9	8.1	6.5	8.1	8.1	6.5	12.9	3.2	30.6	14.5
	個人 (n=189)	46.0	29.1	10.1	5.8	3.7	1.1	2.1	2.1	2.1	1.6	0.5	4.8	5.8	12.7
在籍者数	30人未満 (n=110)	39.1	31.8	10.9	1.8	5.5	2.7	3.6	1.8	0.9	2.7	0.0	3.6	7.3	11.8
	30~100人未満 (n= 89)	60.7	20.2	20.2	16.9	2.2	3.4	3.4	3.4	4.5	1.1	0.0	3.4	6.7	9.0
	100人以上 (n= 67)	52.2	29.9	31.3	28.4	19.4	10.4	6.0	10.4	9.0	4.5	7.5	3.0	1.5	0.0

## 4 今後の生涯学習活動における重点課題

### (1) 地域の教育力向上への取り組み

問7 青少年をめぐる問題の背景には、地域全体の教育力の低下が指摘されています。このことをふまえて、貴機関・事業所では、地域の教育力を向上させるために、どのようなことができると思いますか。つぎのうち、あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

地域の教育力向上への取り組みについては、「異世代の人たちが利用・交流できる事業を企画・運営する (31.0%)」が最も高くなっている。次いで「地域行事に参加する (24.5%)」、「行政、学校や市民の生涯学習活動に講師を派遣する (23.1%)」、「作品を展示したり、成果や発表する機会や場を設ける (22.3%)」となっている。

所在地区別にみると、花見川区、稲毛区、若葉区、緑区では「異世代の人たちが利用・交流できる事業を企画・運営する」が、中央区では「行政、学校や市民の生涯学習活動に講師を派遣する (32.6%)」が、美浜区では「地域行事に参加する (44.1%)」が最も高くなっている。

事業形態別にみると、株式会社・有限会社では「行政、学校や市民の生涯学習活動に講師を派遣する (30.8%)」、「市民の生涯学習活動に、所有施設を提供する (25.6%)」が、大学・学校では「異世代の人たちが利用・交流できる事業を企画・運営する (40.3%)」、「地域行事に参加する (32.3%)」、「市民の生涯学習活動に、所有施設を提供する (24.2%)」が全体より高くなっている。

在籍者数別にみると、在籍者数が多くなるほど「地域行事に参加する」、「行政、学校や市民の生涯学習活動に講師を派遣する」、「作品を展示したり、成果や発表する機会や場を設ける」が高くなる傾向がある (図表3-4-1)。

図表3-4-1 地域の教育力向上への取り組み  
(全体、所在地区別、事業形態別、在籍者数別)

		を用異 企・世 画交代 ・流の 運で人 営きた する者 事が 業利	地域 行事 に 参加 する	を生涯 派遣 する 学校 や 市民 講師	や成果 場をを を設発 け表示 する 機会	す市民 る、所 有生 設涯 学習 活提 動	協行政 働テイ してア 事、N 業、P を行O、 う民 と等 とポ ラ	等に機 をの 提材 供の す生 涯 学 習 資 料 活 動	に市民 、資 金の 生涯 学 習 活 動	その他	とく に ない	無 回 答
全	体 (N=355)	31.0	24.5	23.1	22.3	16.3	12.1	7.3	2.0	5.6	19.4	12.7
所 在 地 区	中央区 (n= 89)	31.5	30.3	32.6	22.5	16.9	16.9	10.1	3.4	2.2	14.6	11.2
	花見川区 (n= 69)	27.5	18.8	23.2	18.8	18.8	7.2	7.2	1.4	8.7	23.2	7.2
	稲毛区 (n= 60)	23.3	20.0	18.3	13.3	10.0	11.7	8.3	0.0	6.7	26.7	16.7
	若葉区 (n= 44)	43.2	11.4	9.1	31.8	15.9	4.5	2.3	2.3	4.5	22.7	18.2
	緑 区 (n= 47)	31.9	27.7	21.3	27.7	17.0	12.8	4.3	2.1	4.3	21.3	12.8
美浜区 (n= 34)	35.3	44.1	20.6	20.6	23.5	17.6	8.8	0.0	11.8	8.8	0.0	
事 業 形 態	株式会社・有限会社 (n= 78)	33.3	25.6	30.8	24.4	25.6	15.4	9.0	2.6	9.0	16.7	5.1
	財団法人・社団法人 (n= 10)	30.0	30.0	20.0	20.0	20.0	20.0	10.0	0.0	0.0	20.0	10.0
	大学・学校 (n= 62)	40.3	32.3	29.0	19.4	24.2	17.7	16.1	0.0	1.6	9.7	11.3
	個人 (n=189)	25.4	20.6	19.6	22.8	10.6	8.5	3.7	2.1	6.3	24.3	15.3
在 籍 者 数	30人未満 (n=110)	23.6	17.3	17.3	20.0	12.7	7.3	6.4	2.7	5.5	27.3	16.4
	30～100人未満 (n= 89)	37.1	29.2	20.2	22.5	20.2	13.5	6.7	2.2	10.1	16.9	7.9
	100人以上 (n= 67)	34.3	29.9	34.3	23.9	16.4	7.5	6.0	0.0	4.5	20.9	3.0